

貧酸素水塊速報 (2012年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省)
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成24年7月2日観測結果

貧酸素水塊は、再び湾奥を中心として分布していました(図1)。船橋および幕張地先は底層の貧酸素水塊が上昇したため、海面の酸素飽和度がそれぞれ32%、28%と低下していました(青潮までには至っていません)。北寄りの風が吹くときは表層の酸素濃度低下に注意してください。なお、鉛直的に見ると貧酸素水塊はまだそれほど厚くは分布していません(図2)。

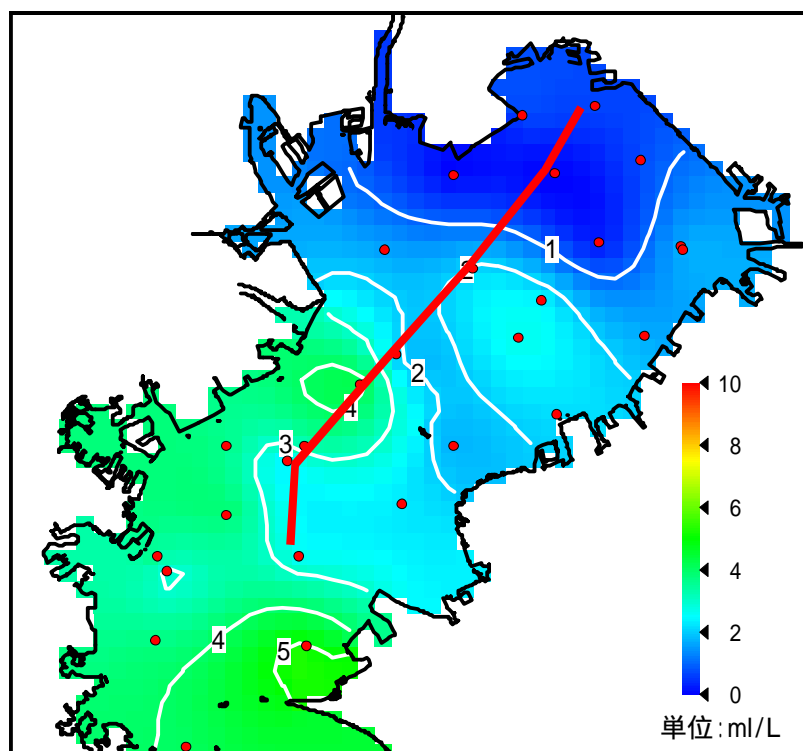


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

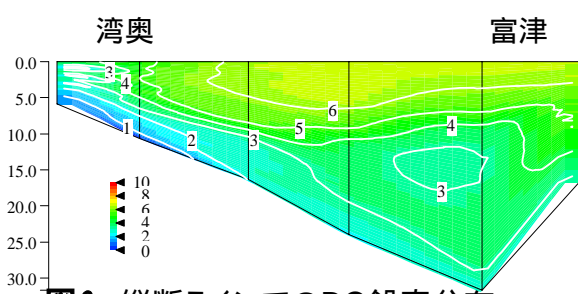


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

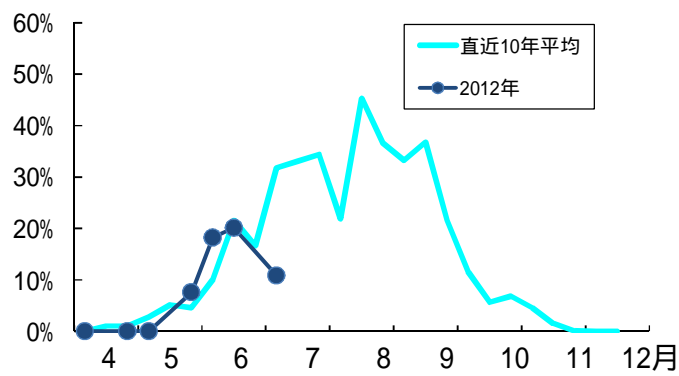


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)